

第4回 パラスポーツの振興とバリアフリー推進 に向けた懇談会



パラスポーツの振興と
バリアフリー推進に向けた懇談会

「東京都の取組」

< 報 告 >

パリ2024パラリンピックに連動したイベントの実施報告

- パリ2024パラリンピック競技大会の応援の気運を高めるため、応援メッセージの発信やパブリックビューイングの観戦会を実施
- 大会後は選手の活躍を広く発信する記念イベントやメダリストの表彰式などを実施し、選手の活躍を称える催しを開催

大会期間と連動した取組

応援メッセージ

パリ2024大会に出場するアスリート等への応援メッセージを募集



東京2020大会メモリアルデーイベント
令和6年7月20日（土）



TOKYOパラスポーツ月間 街なかパラスポット
令和6年7月～9月

パブリックビューイング



TEAM BEYOND観戦会
令和6年8月31日（土）、9月1日（日）

選手の活躍を紹介する取組

記念イベント

パリ2024大会の出場選手のデモンストレーション等を実施



TOKYOパラスポーツFORWARD
令和6年9月22日（日）

メダリスト表彰



東京都栄誉賞及び都民スポーツ大賞表彰式
令和6年10月30日（水）

ボッチャ大会



BEYOND STADIUM 2024
令和6年11月17日（日）

東京2025デフリンピック開催に向けた都の取組

○ 大会に向けた準備を進めるとともに、大会の気運を盛り上げる取組や、「いつでも・どこでも・誰とでも」つながるユニバーサルコミュニケーションの促進など、様々な取組を展開

大会の概要

期 間 令和7年11月15日～26日（12日間）（日本初開催、大会100周年）

参 加 70～80か国・地域（約3,000人）

競 技 21競技（陸上、バドミントン、バスケットボールなど）
（主に都内会場のほか、福島県・静岡県）

情報保障 国際手話のほか、スタートランプや旗などを利用した視覚による情報保障を用いる

メダルデザイン投票

全国の小中高生によるオンライン投票でメダルデザインを決定（8万票を超える投票）

デザインのコンセプト

みんなで羽ばたく
選手が活躍し、大きく羽ばたいていくことを願ったデザイン



気運醸成の取組、ユニバーサルコミュニケーションの促進

気運醸成の取組

大会1年前の節目を捉えたイベントの実施など、様々な取組により大会の気運を醸成



みらぼーとが大変身！ 2024年11月15日-16日



「学ぼう！デフリンピック」

ユニバーサルコミュニケーションの促進



多言語に対応した翻訳機能付き透明ディスプレイを都庁舎等38施設に設置

報告事項2 都におけるバリアフリー化の主な進捗状況 ハード面（令和5年度末）



エレベーター等による段差解消
 (R元末 95.9% → R5末 98.0%)
 ※都営地下鉄100%



ホームドアの整備
 (R元末 45.7% → R5末55.8%)
 ※都営地下鉄100%



車椅子利用者対応トイレの整備
 (R元末 96.8% → R5末 97.5%)
 ※都営地下鉄100%



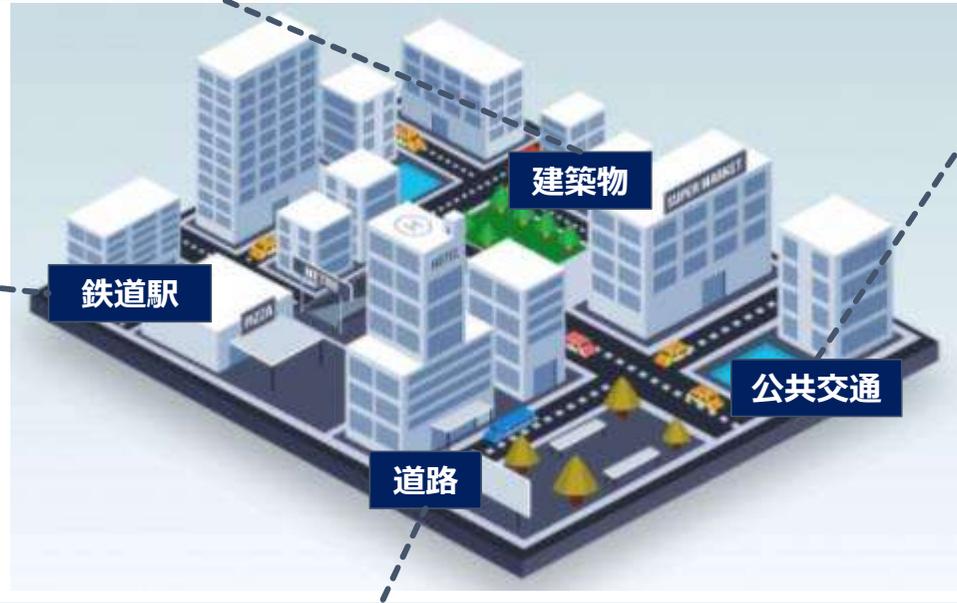
宿泊施設のバリアフリー改修等支援
 (R5実績 13件) ※R6.9 月末時点 (交付申請ベース)



ユニバーサルデザインタクシーの導入支援
 (R5末 17,773台)



ノンステップバス普及状況
 (R元末 94.3% → R5末 96.6%)
 ※都営バス100%



まちの面的なバリアフリー化
 (R5末 バリアフリー基本構想：21区10市)
 (R5末 移動等円滑化促進方針：6区3市)



エスコートゾーンの整備箇所数
 (R元末 695か所 → R5末 859か所)



都道のバリアフリー化
 ・特定道路等の整備
 (H27末 327km【完了】)
 ・優先整備路線の整備
 (R元末 119km → R5末 153km)



都道の無電柱化
 第一次緊急輸送道路
 (R2末 38% うち環状七号線 52%
 →R5末 45% うち環状七号線 74%)

報告事項2 都におけるバリアフリー化の主な進捗状況 ソフト面（令和5年度末）

情報バリアフリー

デジタル技術を活用した 聴覚障害者 コミュニケーション 支援事業

①タブレット型端末の貸出 

②遠隔手話通訳（QRコード利用） 

③電話代理支援 

バリアフリーマップ作成・更新 （R5実績 7区2市）



とうきょうユニバーサルデザインナビ

だれもが外出に必要な情報が集約されたポータルサイト

心のバリアフリー



「心のバリアフリー」HP

- ・共生社会の実現を目指すための情報発信サイト
- ・心のバリアフリーについて学べるコンテンツを掲載

ユニバーサルデザイン学習 （R5実績 9区3市）



高齢者・障害者など当事者参画の取組 （R5実績 19区13市2町）



ポスターコンクール・障害者等専用駐車区画の適正利用・ヘルプマークなど

都民への普及啓発

ヘルプマークを知っていますか？
援助が必要な方のためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

パラ応援大使活動報告 ①大使からのメッセージの発信

- ・ **パリ2024パラリンピック競技大会**に向けて、**パラ応援大使からのメッセージ**をSNSやイベント会場等で発信

※22組23名の大使からのメッセージをパリの現地でも発信



<パラ応援大使からのメッセージ>



<パラ応援大使 公式Instagram>



<東京都 公式X>

パラ応援大使活動報告 ②関連イベントへの参加

- ・ 関連イベントへの参加を通じて、パラ応援大使がパラスポーツの振興とバリアフリー推進等に寄与。イベント参加の様子はSNSで発信

開催日	イベント	会場	参加大使
7.20	東京2020大会 メモリアルデー イベント	SusHi Tech Square	根木慎志氏、三浦浩氏、 テリー伊藤氏、林家三平氏
9.13	TOKYO FORWARD 2025「東京 2025 世界陸上 1 Year To Go !」	東京ドームシティ ラクーアガーデン	二條実穂氏、野村祐介氏、 林家三平氏
9.22	TOKYOパラスポーツ FORWARD	ベルサール秋葉原	二條実穂氏、三浦浩氏、 葭原滋男氏、野崎洋光氏、 野村祐介氏
11.15	TOKYO FORWARD 2025「東京2025 デフリンピック 1 Year To Go !」	アーバンドック ららぽーと豊洲	高桑早生氏、三浦浩氏、 猪狩ともか氏、野村祐介氏、 林家三平氏
11.17	BEYOND STADIUM 2024	東京体育館	猪狩ともか氏、風間俊介氏、 高橋みなみ氏
11.24	心のバリアフリー ポスターコンクール 表彰式	東京国際 フォーラム	高橋儀平氏、三浦浩氏
11.24	ヒューマンライツ・ フェスタ東京2024	東京国際 フォーラム	三浦浩氏、葭原滋男氏、 林家三平氏
2月頃	チャレスポ！TOKYO		(ご案内予定)



<TOKYOパラスポーツFORWARD>



<TOKYO FORWARD 2025
東京2025デフリンピック
1 Year to Go !>

パラ応援大使活動報告 ③デフ体験

- ・ 本日、パラ応援大使がデフリンピックに向け、**言葉の壁を越えたコミュニケーション**を体験

音のない世界で
ボディーランゲージや表情など
互いにコミュニケーションをとる方法を
発見していく。



**本日の体験を通じて気づいたことがあれば、
この後の意見交換の場で、発言をお願いします！**

全ての人々が輝くインクルーシブな街・東京へ

2021年：東京2020パラリンピック開催
2024年：パリ2024パラリンピック開催
2025年：世界陸上・デフリンピック開催

東京
2020

パリ
2024

世界陸上/
デフリン
ピック
2025

スポーツの力で、共生社会実現への歩みを加速

世界陸上・デフリンピック両大会に向けた3つのConcept

- ◆東京2020大会のレガシーを継承・発展
- ◆両大会一体となってウェルネスの向上や社会変革を推進
- ◆2025年を機に、東京に新たなレガシーを創出



東京2025世界陸上
大会ロゴ



東京2025デフリンピック
大会エンブレム

「全ての人が輝くインクルーシブな街・東京に向けて」

～ 世界陸上・デフリンピックを通じて ～

< 意見交換 >

「大使の方々にご協力いただいたアンケート」

- ① **パリ2024パラリンピック競技大会が開催されましたが、パラスポーツやバリアフリーに関して印象に残ったことがあれば教えてください。**
- ② **2025年の国際スポーツ大会 世界陸上やデフリンピックを通じて、東京がどのような街になって欲しいですか。**
- ③ **世界陸上・デフリンピックが来年に控える中、やりたい活動・発信があればお聞かせください。**

事前アンケート①

パリ大会でパラスポーツやバリアフリーに関して印象に残ったこと

【パラスポーツに関して】

- 選手の清々しさ、躍動感が健常者との壁をバリアフリーにしてくれたと実感した。様々な競技で日本人選手が躍動されていた姿はカッコよかった。
- YouTubeでの試合配信に多くの方が見に来ていて、パラリンピックの知名度は着実に上がっている。
- 観客もスポーツの祭典として一緒に楽しみ、その一体感が選手たちへポジティブな力として届いていたと思う。満席の声援が選手を後押しし、テレビ中継でも熱気が伝わってきた。

【バリアフリーに関して】

- 石畳で走りにくいなど生活環境は良くないかもしれないが、心のバリアフリーは進んでいて、目の前に助けが必要な人がいれば手を差し伸べる、席を譲る、声をかけるなどパリジャンは普通に行える。
- 街のバリアフリー化に関しては、東京の方が2020大会に向けて進んだと思う。
- 視覚障害の競技が行われる時の沈黙など観戦マナーが高かった。

事前アンケート②

世界陸上やデフリンピックを通じて、東京がどのような街になって欲しい？

【インクルーシブな都市】

- 日常の普通のこととして多様性を受け止める街。障害の有無にかかわらず意見の違いがあっても当然という社会のあり方を強化したい。マイノリティの存在感を身近に感じられるようになってほしい。
- 音声案内、視覚情報、音と触覚を使った誘導など、すべての人に優しい、多様性を包み込む街
- 障害のある人もない人も、一緒にスポーツを楽しみ、無意識のバイアスを消滅させていきたい。
- デフリンピックをきっかけに、手話などがもっと広まり、「ありがとう」や「おはよう」等の挨拶は誰もが出来るようになっていたら素敵

【国際都市として】

- 世界をリードする国際都市として、日本独自の「優しさ」を多角的に表現出来る街になって欲しい。
- 東京のバリアフリー化がどの国よりも1番進み、世界の水準の目安になって欲しい。

事前アンケート③

世界陸上・デフリンピックに向けた、大使の活動・発信のアイデア

【大使自身が行いたい活動・発信】

- 世界中の人に東京のバリアフリーを体験してもらい、自国と比較した意見を聞く活動
- スポーツを通じて心のバリアフリーを考え体験してもらえる活動
- 日常ではなかなか交流がしにくい聴覚障害の方々と交流し、手話や指文字をマスターしたい。
- 耳がきこえない方も一緒に楽しめる、音や声が発する空気感を体感してもらえるコンサート

【大使同士の連携】

- 世界陸上・デフリンピックに懇談会メンバーの皆様と一緒に応援に行き、選手へ力を届けたい。
- 原宿で開催された「みるカフェ」がとても素晴らしかったので、あのようなお店がまたできたらパラ応援大使の皆様と一日店員などをやってみたい。

【その他】

- パラスポーツをもっと身近に感じてもらえるよう、選手を招いてパーソナルな部分が見えるトーク番組や、配信で見ることができるYouTubeチャンネルなど、SNSのさらなる活用

アンケート（1）

パリ2024パラリンピック競技大会が開催されましたが、パラスポーツやバリアフリーに関して印象に残ったことがあれば教えてください。

- ・ 銅メダルを獲得した道下さんが、繰り上げではあるものの、素直に喜んでいた姿。
- ・ テニスが好きなのでやはり史上最年少18歳で金メダルを獲得した小田凱人選手の決勝ですね。もちろん上地結衣選手もいつも素晴らしいです！
- ・ オリパラのロゴが一緒になった事で、別々の大会というイメージから同じ大会というイメージになった事が素晴らしいと思いました。
- ・ オリンピック・パラリンピック共にさまざまな方面で注目を集めていたと思います。パラリンピックは以前より「観たよ」と言っていただくことが増えたように感じました。
- ・ 観客の皆さんもスポーツの祭典として一緒に楽しんでいたことが印象的で、その一体感が選手たちへポジティブな力として届いていたと思います。
- ・ 2003年に世界陸上パリ大会で1500mのエキジビションに出場しましたが、障害のない選手の世界最高峰の大会で車いすの自分たちがどう見られるのか少し心配でしたが、競技場に入場すると割れんばかりの歓声が降り注ぎ、トップアスリートとして舞台に立つ選手全てに分け隔てなく応援する文化があるのだと感じました。
今年のパリパラリンピックではそれがさらにパワーアップして、視覚障害の競技が行われる時の沈黙など観戦マナーも高かったと感じました。
- ・ 街のバリアフリー化に関しては正直、東京の方が2020大会に向けて進んだと思います。
- ・ パリの地下鉄は300ある駅のうち29駅がバリアフリー対応や道路が石畳で走りにくいなど生活環境は良くないが心のバリアフリーは進んでるそうです。
目の前に助けが必要な人がいれば手を差し伸べる。席を譲る。声をかける。それを特別なことではなく普通に行えるパリジャンは素敵
- ・ 外から見るパラリンピックは久しぶりでしたが、本当にパラリンピック開催期間中なのか…？とってしまうほどの報道等の少なさに驚きました…。
- ・ スタンドの応援がスポーツと一緒に楽しみ、MCがそれをさらに盛り上げ、声援で選手の後押しをしている点が印象に残りました。
- ・ 東京パラリンピックに比べてテレビで報道されることは少なかったですが、YouTubeでの試合配信にはたくさんの方が見に来ていてパラリンピックの知名度は着実に上がっている印象を受けました。
- ・ テレビ中継を観ていても熱気が伝わって来ました！それはまず観客席が満席な事から人々の興味の深さを物語っていたと思います。

- ・ 日本勢メダル獲得第1号として鈴木孝幸選手が先陣を切り、様々な競技において日本人選手が躍動されていた姿は大変カッコ良かったです！

ただ個人的に悔しかったのはテレビ中継が少なかったこと。選手の素晴らしい活躍や面白いパラスポーツを当たり前に見られる環境作りがとても大事な中、オリンピックに比べると取り上げられ方が少ないように感じました。

結果、パリの街のバリアフリー化は間に合ったのかが気になったので、当時のパリの街・選手村の様子を選手の皆さんに伺ってみたいです。

- ・ パラリンピック開会式は多様性という言葉の様々な意味を体現していて素晴らしかった。
- ・ 海外の施設や設備は分からないのですが、帰国された選手の皆様の顔色が良かったので、選手の皆様にとって良かったのではないかと感じました。
- ・ 168カ国史上最多参加国、史上最多プロポーズ等を記念したパリパラリンピック
仏国の「自由」「平等」「博愛」の精神を体現する様に、「難民」として「妊婦」として日々当然有るべき「幸せ」に感謝する姿が美しかった。
- ・ 観衆の皆様と一体化したパラスポーツ、とても良かったと思う。
- ・ やはりパリの街におけるパラリンピックと言うのは歴史に残るものだと思います。特にテニス、小田選手の清々しさ、躍動感が健常者との壁をバリアフリーにしてくれたと実感しています。また、バスケットも、世界相手に飛躍を続ける昨今です。これからがもっと楽しみになってきました。
- ・ エッフェル塔の真下で競技の会場が設けられたことが有効な競技のPR戦略だった。

アンケート（2）

2025年の国際スポーツ大会 世界陸上やデフリンピックを通じて、東京がどのような街になって欲しいですか。

- ・ 特に身構えなくても、日常の普通のこととして多様性を受け止めるまち。
- ・ 個人的にはデフリンピックとパラリンピックの統合協議が始まることを願いますが、まず東京でそうした動きを広めたいです。
障害のある人の中でも同じ競技をするのに区別しすぎないことが相互理解に一番と認識しています。障害の属性や有無にかかわらず意見の違いがあって当然という社会のあり方を強化したい。
- ・ インクルーシブ推進やダイバーシティ推進が「ひとごと」ではなく、共通に誰でも考えなくちゃいけない事と多くの人々が認識できる街になって欲しい。
- ・ スポーツを身近に感じてほしいです。世界レベルの競技を間近で感じることは一生の宝物になります。
- ・ 多くの人々が、当たり前前に存在しているはずのマイノリティの存在感をより強く、身近に感じられるようになってほしい。
- ・ 応援する人もプレーする人もスポーツを通じて一体感を感じながら、それぞれが希望を持って生きることができる社会。
- ・ コロナ禍でできなかった観戦を通して、心理面でのバリアフリー化を実現してほしいと思います。
- ・ すべての人に優しい街 東京
音声案内 視覚情報 音と触覚を使った誘導など多様性を包み込む街になってほしい。
- ・ ハード面のバリアフリーはもちろん、一人一人のソフト面での心のバリアフリー溢れる温かい街になってほしいです。
- ・ 障害のある人もない人も、一緒にスポーツを楽しみ、いまだになくなる無意識のバイアスを消滅させていきたいと考えます。
- ・ もっと建物がユニバーサルデザインになっていくと、より多くの人々が過ごしやすい街になるのではないかと思います。新しくできる施設は基本的にバリアフリーが整っているので、古い施設の改修が進んでいくと嬉しいです。
- ・ 「デフリンピック」という言葉もまだ大勢の皆様には浸透していないと思います。言葉から知って頂きお互いの理解が深まります様に！
- ・ どの国よりもバリアフリーが進み、誰もが過ごしやすく、そして生きやすい街になってほしいです。

- ・ デフリンピックは、ろうの選手が集まるので手話などがもっと広まると良いのかなと。「ありがとう」や「おはよう」等の挨拶は誰もが当たり前に出来るようになっていたら素敵ですし、街に手話ボードみたいなものを貼って選手にエールを送るのも良いかなと思いました。
- ・ 知らない人同士が繋がりがやすい、話しやすい街になるといいなと思います。
- ・ 東京が1番進んで行っていると、世界の水準の目安になって欲しいと思います。
- ・ 東京を訪れた海外の方が2000万人に迫る中、世界をリードする国際都市として多様性寛容性の次のステップへ日本独自の「優しさ」を多角的に表現出来る街に成って欲しい。
- ・ 笑顔が溢れる街
- ・ 最近なんですが、都営地下鉄線東京メトロなどを乗る機会が増えてきたのですが、やはり、インバウンドの後押しもあり、海外からの来客者も多くなります。わかりやすい日本の東京メトロとは言え、まだまだ複雑な部分も多いと思っています。そんな中、車椅子の方の乗車降車を協力できるような体制を、その場に合わせた民間の方たちにも協力してもらえような願いを投げかけていきたいと思います。
- ・ 障害に関する社会的課題に真正面から向き合う町になってもらいたい。観光分野のバリアフリー化の先進的モデルになってもらいたい。

アンケート（3）

世界陸上・デフリンピックが来年に控える中、やりたい活動・発信があればお聞かせください。

- ・ 既に小学生たちにデフリンピックのPRをやっている。
- ・ 世界陸上・デフリンピックに参加する人、観覧する世界中の人に東京のバリアフリー（ハード・ソフト）を体験してもらい、自国との比較を通してご意見を伺いたい。
- ・ パラリンピックは無観客だったので多くの人に今一度日本の中心である東京のバリアフリーについて意見を聞ける活動を実施したい。
- ・ インクルーシブ教育を多くの子供たちに届ける活動を企業を巻き込んで実施したい。
- ・ 大会に関係するイベントに参加できたら嬉しいです。
- ・ 世界陸上・デフリンピックを懇談会メンバーの皆さんと一緒に応援に行き、選手へ力を届けたいです！
- ・ 会場で様々なパラスポーツ体験を遊園地感覚でできるような企画があれば良いと思います。
- ・ スポーツを通じて心のバリアフリーを考え体験してもらえる活動
理解、コミュニケーション、配慮、選択と思いやりや心づかいで東京が「誰もがともに生きる社会」を自然に取り込む機会が生まれる活動
- ・ 今回のパリパラリンピックにおいて報道の少なさに驚いたので、大会がもっと多くの人の目に触れる機会が増えるような活動が出来たら嬉しいです。
- ・ 日常ではなかなか交流がしにくい聴覚障害の方々と交流し、手話や指文字をマスターしたいと思います。
- ・ 以前原宿で開催されていた手話カフェがとても素晴らしかったので、あのようなお店がまたできたらパラ応援大使の皆様と一日店員などのイベントをやってみたいです。
- ・ 耳が聴こえない方も一緒にコンサートを楽しんで頂いた事が有ります。音や声が発する空気感を体感して頂けるコンサート素敵ですね！
- ・ TOKYOパラスポーツチャンネルでは2016年から大会中継をしていたり、日本パラスポーツ協会のチャンネルではパラスポーツの紹介などしていますが、パラスポーツ選手を招いたトーク番組などがあっても良いのかなと感じました。
よりパラスポーツを身近に感じてもらえるように、選手のパーソナルな部分が見えた方が良いので、発信するYouTubeチャンネルやSNSを、より活用できたらと思います。
- ・ 引き続き、どんな方でもスポーツを楽しむなかで整えたり鍛えたりすることのできる心と体両面のうちの、特に「心」の部分についての科学的根拠に基づいたmental well-beingとは何か？を広めることをしていきたいです。

- ・ 自身の本業である「食」を通し、日本の東京の魅力を世界へ発信したい。
食は「屋台」から「パーティ」「おみやげ」まで様々にシーンに寄り添い引き立て心に残る物と考えている。実際に「パリオリパラ」でも食の情報は多く流れた。
- ・ 今まで通りポチポチ
- ・ よく言われるのが、生中継は無いのかとお年寄りの方に言われるのですが、配信で見ることができるようなシステム、例えば、YouTube、TikTok、など比較的わかりやすいSNSを活用する（もうしていると思いますが）。
また、東京都資本のMXテレビから期待のできる選手に特集を組んで、私たちを含め、パラ応援大使が尋ねるなどの企画を立てて見てはいかがでしょうか？
今、私はMXテレビの番組にお世話になっているんですが、開催に近づくにつれスーツにつける。この前いただいた時期のピンバッジを出演者の方に付けていただくなどはいかがでしょうか？
- ・ 開発途上国アスリートの練習環境の可視化を通じて、同地域における障害者を取り巻く厳しい環境について知ってもらう活動。取り組む余裕があるかはまだ未知数です。